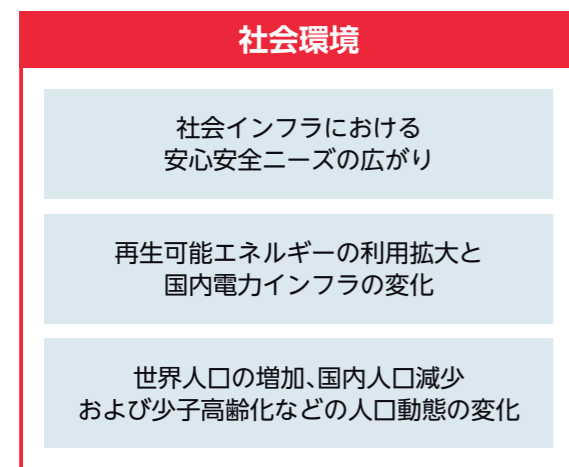
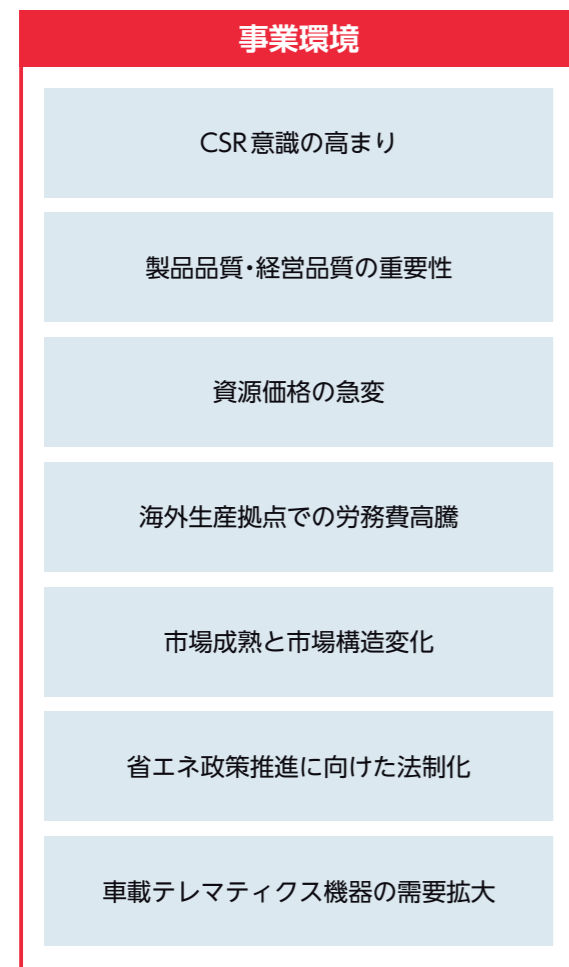


事業を通じたCSRによる 価値提供

FDKグループは、CSR基本方針にもとづく重点課題に継続して取り組むことによりグローバル企業として責任ある経営を推進し、これまで培ってきたコア技術をもとにした電池、蓄電システム製品、電子製品の開発・供給を通じて、社会課題の解決に貢献するFDKグループならではの価値をステークホルダーの皆様提供してまいります。

FDKグループを取り巻く環境



FDKグループのミッション 事業とCSRの統合

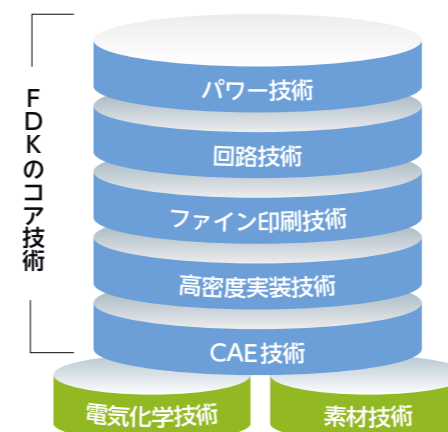
CSR活動における7つの重点課題

- ① 様々な形で社会に貢献する電池、電子製品を供給 ▶ P17
- ② 地球環境保全への対応 ▶ P27
- ③ 多様性の受容 ▶ P23
- ④ 地球と社会に貢献する人材の育成 ▶ P23
- ⑤ ステークホルダーとの対話と協力 ▶ P21
- ⑥ 法の遵守 ▶ P13
- ⑦ コーポレート・ガバナンスの強化 ▶ P14

FDKの事業

電池事業 電子事業

FDKのコア技術と強み



すべては「素材」から
FDKのテクノロジー

「電気化学技術」「素材技術」は、FDKテクノロジーの原点です。このテクノロジーは、FDKの電池と電子製品の核となる「コア技術」を生み出し、様々な機器で活躍しています。「電気を創る（高効率エネルギー変換）、蓄える（蓄電）、賢く使う（省エネ）」時代に求められる高効率で安全な製品の提供のため「様々な形で貢献できるスマートエナジーマネージャー」を目指してまいります。電池、電子製品の既存事業と、それぞれの保有技術のシナジーから生み出される蓄電システム製品、次世代の電池などの「新開発事業」を新たなビジネスドメインに加え、それぞれのドメインを事業環境の変化に応じて柔軟に組み合わせることで、価値ある製品を提供してまいります。

FDKの事業 活動を支える方針

FDK企業行動指針

FUJITSU Way

ステークホルダーにもたらす価値



* FDKグループは「お客様」「社員」「お取引先」「株主・投資家」「国際社会・地域社会」をステークホルダーとしています。